

就労・社会活動部会

令和 5 年度の報告

障害のある人の就労支援における研鑽を目的に、就労系福祉サービス事業所等を対象として下記の日程で2回開催しました。就労支援に係る知識の向上やスキルアップ、関係機関との連携強化を進めることにより、地域における就労支援、就労定着の底上げを図っています。なお、第1回部会については、十勝障がい者就業・生活支援センター だいちが主催する「地域就労支援連絡会議」との共催としました。

第2回部会の意見交換で参加者から挙げられた現状や課題については、令和6年度の就労支援部会に引き継ぎ、課題解決に向けた取り組みに繋げていく予定です。

回	開催日	実施内容概要	参加数
1	令和5年7月6日	<p>「チームで支える！生活と連携した就労支援」というテーマで開催しました。</p> <p>第1部はハローワークより帯広市の就労情勢について、帯広市より就労支援に関する取り組みと総合支援法改正について説明がありました。</p> <p>第2部は十勝障がい者就業・生活支援センターだいち、相談支援事業所、就労系福祉サービス事業所、グループホームの方々にご登壇いただき、就労事例についてのパネルディスカッションを実施しました。各関係者が把握していた課題が共有・連携できておらず、就労後に課題が表面化した事例についてお話しいただきました。関係機関が連携し、ネガティブな情報も含めて課題の共有等を進めることや、関係機関同士の役割を理解し支援することの重要性を改めて認識することができました。</p>	88人
2	令和6年2月29日	<p>令和6年度からの協議会組織改編に向けて、協議会事務局より自立支援協議会や組織再編について説明後、令和6年度就労支援部会の部会長・副部会長として、「移行支援事業所」「就労継続支援事業所」「一般就労」の3分野から、部会長に帯広ケア・センターの八重樫氏、副部会長に障がい福祉サービス事業所きらりの高橋氏、十勝障がい者就業・生活支援センターだいちの新明氏を選任しました。</p> <p>その後、十勝障がい者就業・生活支援センターだいちからの令和5年度の就労支援に関わる活動報告を受け、各参加者より現状と課題を挙げてもらい、それについての意見交換を行いました。</p> <p>就労継続支援事業所からは、利用者やスタッフの人員確保や作業の確保、工賃向上といった多角的な内容が挙げられ、相談支援事業所や企業などからは、それぞれの立場から地域の就労に関する意見がありました。</p> <p>今回の意見交換で見えてきた課題等については、来年度から新体制となる就労支援部会で取り上げ、課題解決を進めていくことを確認しました。</p>	21人